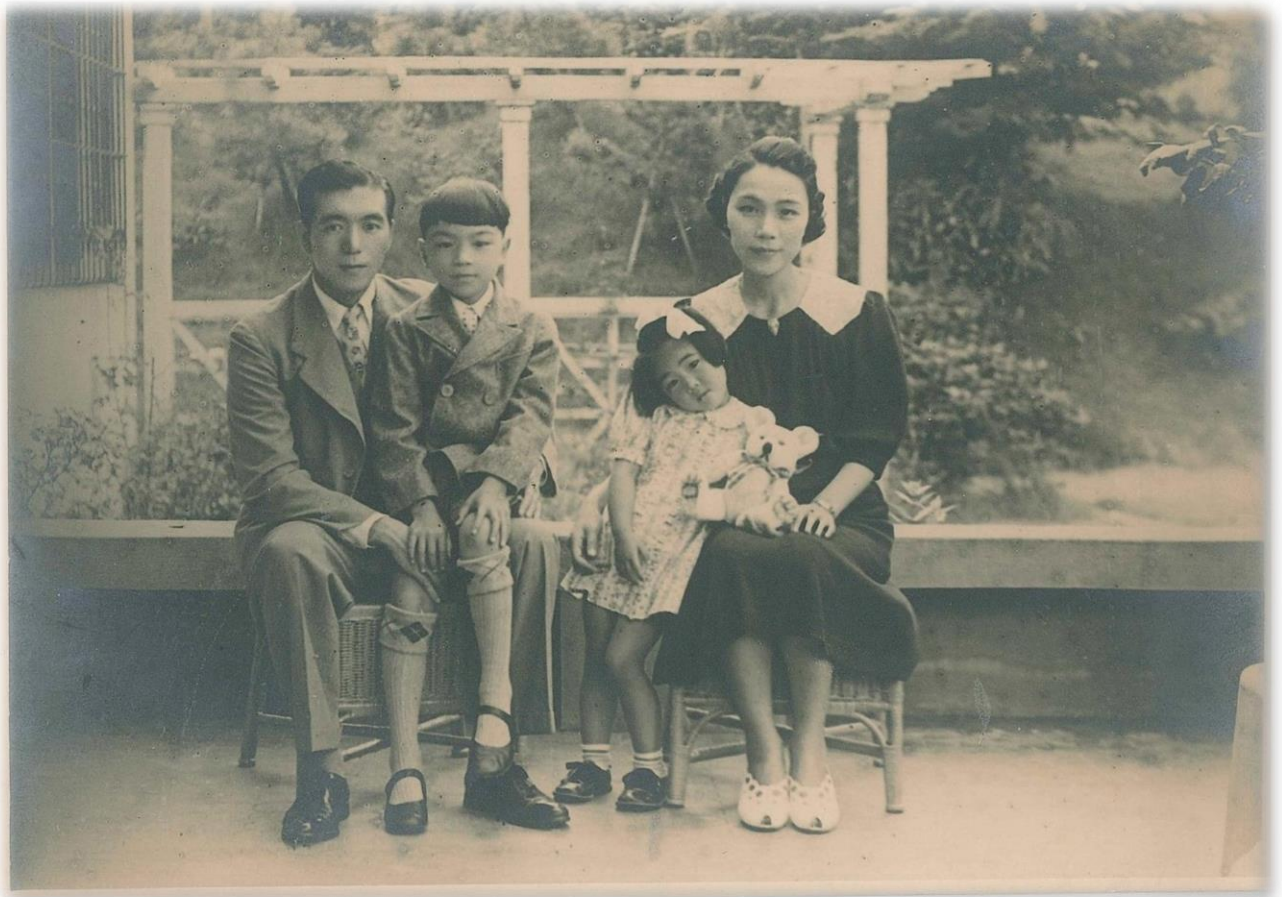


昭和の山手を思ふ端午の節句



開港以来、外国人居留地としての歴史と文化をもつ横浜・山手。
その一画に昭和 20 年代から暮らしてこられた長谷川さんご一家の洋館もあり
ます。今日はお兄ちゃんが主役の端午の節句をお祝いするために、
お料理好きのお母さんが、たくさんのごちそうを作ってくれました。

七五三の時に着た着物でおめかししたお兄ちゃん、
おしゃまな妹は「わたしも」とお母さんにせがみます。

昭和の良き時代、山手の暮らしに思いを馳せながら、どうぞお楽しみください。

※オールドノリタケ・ガラスのボトルとグラス（グリーン）・漆器・ガラス花器・甲冑・武者人形
などは実際に長谷川家で使われていたものです。



装飾：NPO 法人横浜山手アーカイブス